



戦争をさせない
Anti-War Committee of 1000
1000人委員会

1000人委員会ニュース

No.64

(2020年8月21日)

〒101-0062東京都千代田区神田駿河台

3-2-11連合会館1階 平和フォーラム内

TEL:03-3526-2920/FAX:03-3526-2921

<http://anti-war.info>

いのちをまもれ！臨時国会ただちに開け！ 安倍政権による改憲発議を断念させよう！



8月19日、国会議員会館前行動に
900人が参加。(記事3ページ)

2020年上半期は、新型コロナウイルス感染症問題によって、国際社会が、そしてこの日本社会が、大きく揺るがされる事態となりました。今なおその終息のめどは見えておらず、数年にわたっての対策が必要になることが予想されます。

私たちがとりくんできた集会や街宣といった日常的活動などについても、その実施が困難な状況が出来しました。5月3日に東京・有明防災公園で開催予定だった「平和といのちと人権を！5.3憲法集会2020」は、インターネット中継に切り替えることになりました。また、4月・5月の「19日」行動を中止するなど、中止・延長などの対応を行いました。

この間、安倍政権は市民に「自粛」を押し付けるばかりで、医療の強化や補償・給付などの対策にまともにとりくまず、いっぽう多くの延期を求める声を無視して「Go Toキャンペーン」を強行しています。こうした安倍政権の姿勢に市民の怒りは高まっています。下落する内閣支持率を前に、政府・与党は国会の早期閉会を強行しました。憲法53条に基づく野党からの国会召集要求を、現在も踏みにじり続けています。

この状況下においても、改憲策動は止まっています。新型コロナウイルス感染症問題を「緊急事態条項」新設に利用しようとする動きが繰り返し行われ、インターネット上ではウソとデマで改憲を煽るキャンペーンが蠢いています。

また、「イージス・アショア」計画が停止になったことを受け、このことを覆い隠し、ごまかすかのように、安倍首相が口火を切るかたちで敵基地攻撃能力保有の必要性をふたたび語り始めています。「集団的自衛権」行使容認同様に、改憲なしで実質的に憲法9条を破壊する動きに連なるものとして、注視する必要があります。

こうした動向を踏まえつつ、私たちとしてもこれらに対決するたたかいの再構築に向け、とりくみを再スタートさせています。また、インターネットなどを活用した宣伝と対話のあたらしい方法の模索が求められています。

世界に目を転じれば、コロナ禍の困難を突破し、多くの市民が立ち上がり、声を上げています。たたかうことなしには私たち一人ひとりのいのちの尊厳を守ることも、平和な未来をつかみとることもできません。戦争をさせない1000人委員会としても、このあらたなステージを、多くの人びととともにたたかいぬく決意です。引き続きのご支援とご協力をよろしくお願いします。

戦後75年、8月15日にあたっての事務局長「誓いのことば」 武力ではなく、国境を越えた信頼醸成を

8月15日、千鳥ヶ淵戦没者墓苑で開催された「戦争犠牲者追悼、平和を誓う8.15集会」（主催・平和フォーラム）に戦争をさせない1000人委員会の内田雅敏事務局長が出席し、以下の「誓いのことば」を発表しました。



今年もまた、8月15日がやって来ました。2020年8月15日、戦後75回目の8月15日です。

今、世界は新型コロナウイルス禍で大変な状況になっております。日本も例外ではありません。

加えて毎年のように起こる風水害、河川の氾濫、土砂崩れなどの災害によって多くの人命が失われ、住居等が破壊されています。地球温暖化が影響しているといわれています。

先頃、アフガニスタンで亡くなられた医師の中村哲さんの実践にもみられるように、堯、舜、禹の古来より治世とは治水、すなわち国家の役割は民の暮らしを立てさせるところにこそあることを改めて確認し、武力では新型コロナ、風水害に対処しえないことを確信してきております。

新型コロナウイルスも地球温暖化も一国だけでは解決できません。多くの国の協力があってこそ可能となるものです。然るに世界の大勢はこれに逆行するような動きを示しています。偏見と独断の権化トランプ米大統領の暴走、中国の覇権主義、香港市民に対する弾圧等々です。

日本の安倍首相も同様です。辺野古米軍新基地建設反対の沖縄県民の民意を無視した基地建設の強行、欠陥だらけのイージス・アショアの建設断念と同時に、突如声高に主張され始めた敵基地攻撃力の保持論議、喫緊の課題は何か、政治の優先順序は何か全く分かっていないとしか思えません。

安倍首相は、安全保障を巡る環境の変化を強調します。そうでしょうか。今必要なことは安全保障を即、軍事同盟、軍拡、とする発想からの転換です。

安全保障とは文字通り、民の安全を保障するということです。

皆様方もご承知のように、75年前の敗戦を経て、私たち

は、「政府の行為によって再び戦争の惨禍が起こることのないようにすることを決意し」、「平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼してわれらの安全と生存を保持する」ことを宣言し、戦後の再出発をしました。諸国家でなく、「諸国民の公正と信義に信頼して」なのです。国家が、メディアが、御用学者が、そして軍需産業が偏狭なナショナリズムを煽らなければ、民衆は戦争を望みません。武力でなく、国境を越えた民衆間での信頼の醸成、これこそが究極の安全保障です。

皆様方も憂慮されていることと思います。今、隣国韓国との関係は、元徴用工問題に関する韓国大法院判決を巡って悪化の一途をたどっています。敗戦の日から75年を経て、今なお、私たちは、アジアに対する、侵略と植民地支配の清算を果たしておりません。

元徴用工問題は、加害者としての私たち日本が、慎みと節度を持って植民地支配の問題に向きあい、誠意を以って解決する以外ありません。

反戦平和の闘いは、たとえてみればゴールのない駅伝のようなものです。各々がその託された期間を走り続け、次の世代に平和のタスキを手渡す、ゴールにたどり着ける人は稀、いやゴールそのものがない永久の連続運動だと思います。

私たちは、常に、75年以上前、非業・無念の死を強いられた皆さま方の声に、そして戦後の反戦平和運動を担い、亡くなっていった諸先輩たちの声に耳を傾け、皆様方から託された平和のタスキを次の世代に手渡すべく走り続けます。

2020（戦後75）年8月15日
戦争をさせない1000人委員会事務局長 内田雅敏

いのちをまもれ！国会開け！安倍改憲NO！

8.19国会議員会館前行動に900人



8月19日、総がかり行動実行委員会・全国市民アクション共催の国会議員会館前行動が行われました。新型コロナウイルス感染症がまだ終息せず、新たな感染も続いている困難な状況のなかですが、約900人の市民の参加でやりぬきました。

市民からの連帯発言では、看護師の宮子あずささんから、訪問看護の現場では、エアコンをつけることすら経済的に厳しい利用者家庭が多く存在していることが紹介されました。

また、反貧困ネットワークの瀬戸大作さんは、雇い止めなどでいっさい所持金がない状態での救援要請が次々と舞い込んでおり、とりわけ青年層や外国人、ホームレスなどの人びとのおかれた状況の深刻さを訴えました。

ウィルスじたいは差別しないとしても、この社会に存在する貧困・格差・差別によって、その脅威と被害は弱い立場の人びとに対してより強い打撃となって現れます。そのことを覆い隠し、なんらまともな対策を行おうとしない政府を許してはなりません。こんな状況だからこそ、一人ひとりのいのちの尊厳をすべての人に対して保障させよう！

行動提起では戦争法強行からまる5年となる9月19日、国会正門前での行動への結集が呼びかけられました。改憲発議を最終的に断念させ、憲法違反の法律を廃止するために、ともにがんばりましょう！

ブックレット『敵基地攻撃論批判』のご活用を！

イージス・アショアの白紙撤回の直後、安倍首相は「敵基地攻撃能力を含む安全保障戦略（NSS）の見直し」に言及しました。これに呼応し自民党ミサイル防衛検討チームが「相手領域内でも弾道ミサイル等を阻止する能力の保有」の検討を求める提言を行い、9月までのNSS改定に盛り込むことを狙っています。

こうした動きを受け、「立憲フォーラム」がブックレット『敵基地攻撃論批判 「専守防衛」の“見える化”を』を発行しました。執筆は軍事評論家でジャーナリストの前田哲男さんです。このブックレットを活用していただき、憲法違反の「敵基地攻撃能力」反対の世論をつくりだすことを呼びかけます。

編集・発行：立憲フォーラム

体裁：A4判・40ページ

内容：どこから来たのか？「敵基地攻撃論」議論の沿革
／21世紀初頭の逆転劇 法理上から政策へ
／敵基地攻撃：どんな兵器が選定されるか？
／どう対抗していくか

頒価：100円（10部以上は送料無料）

お名前・お送り先住所・電話番号・冊数を明記し、
立憲フォーラム（担当：福田）までお申し込みください。
FAX：03-3303-4739／mail：fukuda@haskap.net



『元徴用工 和解への道』（内田雅敏著）のご紹介

戦争をさせない1000人委員会事務局長の内田雅敏さんが、『元徴用工 和解への道 一戦時被害と個人請求権』（ちくま新書）を刊行されました。

韓国人元徴用工問題を解決済とする日本政府。一方で元徴用工が補償を求める個人請求権が存在することも認めている。彼らの訴えに耳を傾けることが、戦後七十五年間、民間人の空襲被害や外国籍の人々への戦後補償を放置してきた日本社会に問われているのではないかと著者は弁護士として中国人強制労働事件の和解交渉にかかわった経験を踏まえ、元徴用工問題と和解への道を探る。

（ウェブサイト解説文より）

新書判・288 ページ、880 円＋税。ぜひお買い求めください。

筑摩書房ウェブサイトからも購入できます。下記 url からご覧ください。

→ <https://www.chikumashobo.co.jp/product/9784480073136/>



今後の主な行動日程・とりくみ

新型コロナウイルス感染症対策を講じながら実施していますが、拡大状況などを注視しつつ、中止・変更の判断を行う可能性がありますので、ウェブサイトなどもご確認ください。

安倍9条改憲NO！改憲発議に反対する全国緊急署名
改憲発議を最終的に断念させるため、2020年中の中心的なとりくみとしてすすめています。

集約予定：秋の臨時国会に提出する予定です。

呼びかけ：安倍9条改憲NO！全国市民アクション

9.18さようなら原発首都圏集会

日時：9月18日（金）18時30分～

※開場17時30分 ※集会後、デモ予定

場所：日比谷野外音楽堂

※会場定員が1300人となっています（先着順）

主催：「さようなら原発」一千万署名 市民の会

協力：戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会



戦争法強行から5年 戦争法廃止！

安倍9条改憲NO！安倍政権退陣！9.19国会正門前行動

日時：9月19日（土）15時～

場所：国会議事堂正門前

主催：戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会

／安倍9条改憲NO！全国市民アクション